

9. 卒業論文題目

1954年3月卒業

- 庄ノ文男 武庫川下流域の景観変遷
 杉本尚次 近畿地方に於ける民家の地理学的考察—日本民家の地理学的研究—
 高山龍三 出稼地域の研究
 山岸和一郎 奈良街道—その機能的考察—

1955年3月卒業

- 大林博光 大阪府下に於ける町村合併の方向—枚岡市の場合—
 鈴木嘉幸 観光地理学序論
 武岡輝行 近郊地域の都市化の研究—豊中市の一性格—
 谷 啓二 我国における鉄鋼業の立地条件
 中西啓二 神戸・大阪両港比較論
 中村泰三 ソヴェト樺東地方の農業開発

1956年3月卒業

- 宮崎喜重 米国 T. V. A. に於ける農業開発の位置
 高木幹雄 簸川平野における散居集落の立地要因について
 宮井 陸 アマゾンの農業開発

1957年3月卒業

- 大塚 隆 近郊農業地域の地理学的研究—河内葡萄の場合—
 杭田秀夫 恙虫病の疾病地理学的研究
 西川 宏 地理学的にみた都市近郊の諸問題—登美丘町（大阪府南河内郡）の場合—
 武衛俊雄 神戸市における都市計画の変遷について
 山内永光 日本とエネルギー資源問題

1958年3月卒業

- 井上寛和 羊と燕の二つの囲い込み
 北濃祥二 利賀村の地理的性格
 赤沢信雄 大阪府における園芸農業の地域構造
 小原利雄 隠岐島漁業の人文地理学的考察
 千田専一郎 大阪メトロポール地域に於ける交通現象
 中谷暢夫 戦後の大阪市の昼間人口流動について
 松下任久 城下町の景観変遷—上野、福知山の場合—

1959年3月卒業

- 佐渡修一郎 工業より見た地域構造とその変化—茨木市の場合—
 西山純弘 山田村の研究—主として農業兼業より見たる—
 初坂義之 吹田市の性格について—衛星都市概念の考察を併せて—
 前田禮子 中世文書より見た小曾根村の歴史地理

松本裕夫
丸岡祥伸

神戸港の貨物輸送に就いての一考察
兵庫県沼島の人口移動

1960年3月卒業

池田 脩

京都桂川流域における農業用水路並に排水路開鑿による農耕生活の変遷と実態
—特に羽東師村の場合について—

鎌田光三

「中心集落」研究のための序論

桑原正明

村落社会に於ける家号の役割並びに岡山県の家号分布

白石太良

地域の発展と交通とに関する実証的研究 —住宅衛星都市豊中の場合—
布施市の機能及び機能的地域のついで

田中富雄

人口構造及び農業構造よりみた淀川右岸地域の変遷

田宮常好

宗教都市丹波市町の発展

中西 満

和牛飼養の地理的考察 —兵庫県美方郡村岡町を中心として—

谷垣幸雄

泉佐野タオル工業について

中島博文

ダム建設による水没部落の研究 —奈良県吉野郡の三つのダムを例として—

福島 巖

戦後開拓村の地理学的考察 —神戸市の一開拓村を中心として—

藤原靖史

熊野川における木材搬出と上下流域の結びつき

道窪健治

1961年3月卒業

阪上嘉之

西宮市塩瀬町名塩における和紙手籠業の研究

村越隆平

行政区別からみた大阪市の貧困構造

1962年3月卒業

伊藤 和

住宅団地の市街地化にはたす役割 —団地の成立と周辺地域構造の変化—
阪神都市圏における公団住宅団地の場合

大空紀之

高冷地集落研究

川上憲一

移民送出における山村地域 —和歌山県日高郡竜神村下広井原の場合—

木岡康如

部落の都市化と実態 —特に「西浜」部落について—

鈴木治夫

人の往き来を指標とする地域のひろがり
—奈良県吉野郡の一山村「入之波」の場合—

中野祐二

明石市の工業

1963年3月卒業

近江善夫

播磨工業地帯の地理学的研究

菊本 健

大阪市における道路交通問題

近藤 勝

大阪の地盤沈下に関する地理学的考察

近成俊昭

鮮魚の流通

西川正彦

紀の川流域の農業的土地利用

松岡 元

大都市の道路交通と地域構造の関係

1964年3月卒業

景守 豊

戦後沖縄における糖業の発達と農民

- 藤田道明 水稲生産力の変貌—生産力配置を手掛かりとする統計的分析—
 松本渥雄 中小企業の地域の立地に関する一考察—堺市の自転車工業の場合—
 山本 紘 大阪湾沿岸漁業の地理学的研究—大阪府の場合—
 和田寿治 大阪湾の修築整備事業から考察した大阪湾の将来

1965年3月卒業

- 石井寛治 大阪府の寒天製造業について—特に高槻市原の場合—
 川北恵美子 真珠養殖業の浸透による村落の変容
 小林和子 京都市南郊における都市的土地利用と農業的土地利用の競合
 平山良彦 京都付近にみられる水害の諸形態
 楨谷健司 大阪平野南部における溜池—農地潰廃による埋立て—
 若林宗行 伝統産業についての—考察—金沢市における製箔工業の場合—

1966年3月卒業

- 板野哲夫 近世山村の地域構造—奈良県川上村井光部落を例として—
 河井 忍 堺の工業
 斉藤 徹 大気汚染の社会的災害論
 仲谷秀雄 天明・寛政期の農業生産と農民層—河州石川郡北大伴の場合村—
 福岡康至 越後平野の六畜市

1967年3月卒業

- 井上節子 アンデス地帯の土地制度—ペルーを中心として—
 上松雅嗣 山村における離村の一考察—奈良県十津川村を例として—
 上山善治郎 強制移動と移民社会の変貌—ヴァンクーバー日系社会に於て—
 岡 喜久雄 泉州機業序説—明治・大正期より見て—
 神田 孝 堺市変遷の地理学的考察
 日下晴代 木材需要の変遷からみた吉野林業
 橋本吉則 農地潰廃と農業の変化—農村を例として—
 田中和江 大阪市を中心とした住宅地域の地理学的研究
 鶴田晴子 大阪市における卸売業—立地・輸送の観点から—
 野口邦彦 大阪周辺の都市化、最近の動向

1968年3月卒業

- 明石秀俊 香川県における果樹栽培
 井上正子 淡路島における酪農業
 池島萬紀子 フランス地理学に於ける中心機能の研究
 一特に大都市におけるターミナルの研究—
 石田勝彦 人口よりみた淡路島の地域性
 泉 孝 神津島の地理学的研究
 古閑紀秋 労働力の地域分布と地域間労働力移動について
 一とくに新規卒業者の産業別規模別入職の地域差を中心に—
 田原幸子 宝島の村落社会

西谷英男	鳥取県の木材流通
林 弘訓	公害 一経済地理学的考察一
水嶋義次	山間地の住宅地開発と居住者の傾向
山野正彦	19世紀ドイツ地理学史序説
山本正樹	入会林野の現状
若林哲司	大阪周辺における交通網の基本構造

1969年3月卒業

伊藤敦子	沿岸漁場の利用の地理的研究 一兵庫県飾磨郡家島町坊勢漁村について一
大林幸雄	生鮮食品流通の地理学的考察
保脇正義	郷土調査としての九度山町誌

1970年3月卒業

江浜さち子	宝塚市上佐曾利と球根栽培
北村幸子	池田市の形成発展の過程
栗原宏行	大阪市の住宅化、及びその問題点
田辺寿昭	一山村の過疎化現象 一島根県大和村を事例として一
津村和平	農山村の事例報告 一三山地区：徳島県麻植郡山川町一
中谷澄子	岩倉 一都市近郊地域の変貌一
浜田光子	船坂部落（西宮市山口町）のパセリ栽培について
福川圭子	開拓山村の部落構造 一童仙坊の場合一
藤原由利子	工業分散化政策としての新産業都市
松本博之	半農半漁村の生業の成り立ち 一香川県小豆郡上庄町唐櫃浜村の概観一
渡辺日出雄	ツシマヤマネコの空間構成

1971年3月卒業

清田映子	丹波立杭 一陶業と生活一
末沢一生	大阪のドーナツ化現象について
長岡康規	北ボルネオ山地陸稲焼畑農耕民の農耕技術と農耕儀礼
藤田敏雄	経済成長と地域の変貌 一八日市市域に関する考察一
古屋修二	企業進出と農村の変容過程
松谷むつ子	丹波社氏とその農村社会
宗平史郎	内陸地方都市における交通の役割 一その地理学的アプローチを播磨山崎に求めて一
吉村忠幸	大阪市における住宅立地の階層的な地域分化・序 一市営住宅を中心として歴史的に見た一
脇ノ谷隆平	奈良県の人口流動と移動について

1972年3月卒業

青木茂明	奈良県野辺山開拓地における農業
足立和久	八束町の現状と地域開発
内田義弘	焼畑農耕民の村落社会

- 亀岡達夫 路上から — 公共的空間に於ける混雑の問題について —
 川口隆子 西サモアの人口問題と漁業問題
 木原克司 都市環境の整備と文化財保存 — 都市問題解決への道
 資料編 我が国における文化財保存運動
 菅野 隆 拠点開発方式による地域開発の問題点 — 大阪府堺市を中心にして —
 鈴木常夫 地域開発 — 愛知県東三河地区の場合 —
 西野 治 大阪府における農地転用の拡大について
 森脇英雄 島根県における工場誘致政策と工場進出 — 後進地域工業化の一事例 —
 若林義朗 都市化と都市交通の一考察

1973年3月卒業

- 小笠原昇 母子の通婚圏
 彼谷利彬 梅田地下街 — 現況・性格・役割 —
 香川正博 地域開発としての観光開発の現代的意義とその方向性
 — 長野県民宿地域の変貌より探る —
 現田美恵子 酒造出稼者たちの一故郷
 小阪昌也 住宅開発と地域社会の変貌 — 堺市高藏寺村 —
 田中元美 兵庫県三田市母子における祭祀と講
 中村直美 近江茶業地域の形成過程と現況 — 進む茶業地域の両極分化 —
 林能理子 村落社会における同族組織
 山口 順 北進地域の都市化
 山元良平 兵庫県三田市母子地区の共有山
 — 《部落有林野》地理学的研究の手がかりとして —

1974年3月卒業

- 相川耕司 山間村における谷について
 — ムラの中の小地域集団に関する北摂山地での事例研究 —
 角野富治 共同体（コミュニティ）の研究 — キブツを中心として —
 神前進一 土地利用から見た高冷地農山村の変容過程 — 長野県木曾郡開田村の事例 —
 寺脇祥子 大阪の酪農
 戸嶋洋一 ポカ村におけるダマラ族の生活と結婚制度
 松本千尋 藤井寺市の都市化とその構造

1975年3月卒業

- 青木年幸 アメリカ合衆国の都市黒人
 楠木克弘 2つの地域社会政策の現状と課題
 — ニュータウン建設と部落解放総合計画について —
 立入 徹 振興山村の現状と課題 — 滋賀県土山町山村地区の場合 —
 出井克昌 都市部の駐車場
 村田正夫 戦後妻作の衰退とその経済的要因

1976年3月卒業

- 片木哲男 岸和田市市内における人口動向—人口ドーナツ化を中心として—
 勝井健二 人口流出形態の地域的相違—3つの山村地域を事例として—
 金井年 寺内町の歴史地理的性格—久宝寺寺内町を中心として—
 嶋中明彦 奈良県五条市における中心性の研究—過疎研究のひとつの指標—
 新谷昭二 幾つかの集落からなるムラについて
 —北摂能勢における2つのムラでの事例研究—
 田中 正 専門的みかん産地の耕地所有の形態と共同防除
 —和歌山県麻生津の調査を通して—
 原田寿美子 部落有林の実態と村落構造—奈良県吉野郡十津川村の場合—
 山本比佐夫 都市交通問題解決の1手段としてのゾーンバス
 和田幸子 羽曳野農業の地理学的考察

1977年3月卒業

- 浅野登巳子 茨木市の商業構造の変化
 石原宣秀 都市化による農業地域の変貌—滋賀県守山市を例として—
 江崎優子 瀬戸市の商圏設定
 奥田敏寛 豊中市の形成と地域構造
 河隅健一 名古屋大都市圏と交通網計画
 久保泰雄 生駒山—メッシュ図からみると—
 霜山知子 淡路漁村の一考察—飯屋・室津の事例研究—
 辻村 稔 聖田の漁業について
 富樫暁宏 鉄道の発達と住宅地化—西宮を例に—
 中尾久美子 富田林村における近世酒造業の展開

1978年3月卒業

- 大場茂明 泉州地域における工場分布の計量地理学的考察
 岡田正雄 寝屋川市西部の市街地化と都市問題
 小川和彦 大阪府の公害について
 —藤井寺市内における光化学スモッグによる被害状況について—
 新宮由子 橿原市民の消費者行動
 中 志信 過疎についての一考察
 西海陸夫 都市の商業核—商店街分布からみたその構造と中心性—
 西口 明 竹内越え—その歴史地理学的研究—
 古川一之 大阪都市圏における農業構造について
 吉安佐知子 大阪周辺における在来工業の存続状態
 —特に茶釜工場と妻楊枝工業の比較について—

1979年3月卒業

- 神代一徳 地方中心都市における都市成長基盤
 —富山市・高岡市の都市化を事例として—
 佐久間雄次郎 大阪市における住宅地の地域性

- 竹川雅啓 奈良盆地における中心地構造
 年代雅夫 生きられた場所 一場所論への一つの視点—
 場野哲夫 大型店の中小小売商店に与える影響 一富田林市を例として—
 林田長百 近江盆地における中心地研究 昭和50年国勢調査報告による検討
 平井一人 緑地の公用をベースにおいた都市の環境計画について
 渡辺裕司 交野市における都市化

1980年3月卒業

- 松野健児 東播磨海地域の工業化による地域構造変化について
 川端基夫 医薬品卸売業の立地考察 大阪府を事例として
 黒越宣子 桜井市南向の水利と農業 一吉野川分水による影響—
 棕本友子 河南町の農業
 山口順子 三ノ宮の地下街の機能と現況
 鷺見哲男 神鍋高原における民宿地域の発達

1981年3月卒業

- 今田正明 構造不況の要因とその影響
 金城基満 NT地域における年令構造の比較考察
 首藤浩一 北見地方のハッカ栽培と地域再編
 高橋毎彰 集団住宅地の形成とその特色 一大阪・泉州地域を事例として—
 寶川順也 下関市の中心商店街
 野尻 亘 物資別適合輸送方式の地理学的考察
 野間健二 鳥取市と松江市における中心商店街
 長谷川一男 大阪・神戸に於ける営業倉庫の立地
 平岡賢悟 ムラの空間的構成
 本郷清次郎 日本の離島
 松井一郎 近畿地方における鉄道網発展の地理学的研究
 松橋 均 長崎県北松地域の土地利用
 八尾博之 条里地割下に埋没する溝状遺構の歴史地理学的研究
 山本誠一郎 堺における刃物工業の動向

1982年3月卒業

- 井上憲生 大阪市営住宅の発展過程
 大島 彰 言語地理学の一考察
 岸本智洋 都市内部における金融中心地の構造
 坂野 薫 京阪神におけるホテルの立地論
 田仲由美子 沿岸漁村の観光地化
 竹下淳一 東大阪市の貸工場
 津島 修 今治市におけるタオル製織工業の展開
 中村典子 被災と都市の発展
 西川芳幸 都祁村の村落構造
 松山恵子 野菜供給圏の変遷

吉田 徹 衛星都市における端末交通手段の研究

1983年3月卒業

宇津祐子 村落構造の変化 一茨城県笠間市来栖を事例として一
小倉博之 和運川の河岸段丘と地殻運動の検討
大町 聡 都市景観の記述 一小説の地理学一
加藤圭祐 転換期の中国農業
髙秀史 鴻池新田の特色とその背景 一摂津川口新田との比較において一
近藤理恵 宮座の存続と条件 一滋賀県八日市市大森町を事例として一
佐竹修仁 全国総合開発計画と工業開発 工業整備特別地域・東三河を事例として一
高木俊光 山岳景観 一SD法によるイメージ測定と景観構造の視空間知覚一
西尾広江 地理学と都市計画 一ニュータウンのアンケート調査を事例として一
松尾光雄 村落空間に於ける認識論的考察 一鹿児島県下飯島を事例として一

1984年3月卒業

壁谷 真 大阪にみる酪農の動向
小島靖司 大阪市CBDに於ける機能的地域分化
小向信昭 夕張川中流域(由仁安平低地)の地形面形成過程
高橋 浩 近世和泉国における郷と村落
豊田昌秀 「地誌学批判」に依る
中垣友希 紀伊国府、あるいは因衛・府中について
中村眞一郎 景観表現としての鳥瞰図研究
安井道夫 都市部における公園型墓地の立地とその副次的機能

1985年3月卒業

落合 勉 三重県神島における小集落と若者集団
沖而徹二 近年の高層住宅建設に伴う人口密度分布の変化
沖浦吉恭 千里ニュータウン居住者の購買施設利用状況とその変化
木村佳代子 ニュータウンにおける施設体系 一泉北ニュータウンを事例として一
中濱安雄 大阪府豊能町にみる消費者買物行動

1986年3月卒業

音田浩明 伯耆国における近世村落の構造
十時理英 遊牧民と農耕民
土田須崇子 宅地化する小農村の農業の方向
納屋 仁 大阪湾岸の変容と水鳥の渡来状況
中野隆雄 和泉葛城山系の自然保護について
松原啓介 需給関係からみた石灰石の輸送体系の地理的展開

1987年3月卒業

石川博子 近世城下町の町人町地区における街道の優位性
上山素子 伊勢古市における歴史的景観の意味

- 海老塚正明 数値地図による和泉山脈の地形数値解析
 岡森哲也 石狩平野の気候景観について
 鈴木明日子 崩壊地の地名について —奈良県吉野郡川上村と十津川村を例に
 平井雅也 鹿児島県吹上浜における砂丘景観の変貌
 松藤尚起 奈良の観光に関する考察

1988年3月卒業

- 青山真樹 大阪市における住居表示制度とその問題点について
 大内理香 NEPAL 近代化のキーワード
 北井弓子 十三の変遷について —歓楽街としての側面から
 谷本欣吾 京阪神大都市圏における公共交通ネットワークの分析
 戸林 浩 郊外型ショッピングセンターの購買行動への影響について
 —伊丹市を事例として—
 中本充代 住民による「奈良市中心部」の地理的イメージ
 新見和也 大阪湾岸埋立地：利用パターンの変化と問題点
 堀田千恵 水際空間の変遷と親水性の関係 —大阪市内の川を例に—
 本田寿夫 大阪市東淀川区における住宅地化の特性
 皆見陽子 盛り場 新世界の変遷
 三宅 敦 大阪府における普通銀行店舗網の変容過程

1989年3月卒業

- 浅田真実子 「チャグチャグ馬コ」 —その歴史的・民俗的考察と現状—
 丹羽弘一 都市現実と地理学の課題 —Henri Lefebvre の議論を中心として—
 濱本清美 「心の落ち着く風景」を探る
 藤代真世 京都府下童仙房における開拓と現状
 山岡経子 ソ連の諸民族にとってのロシア語
 —連邦共和国構成民族のレベルにおいて—

1990年3月卒業

- 石田久美子 大阪市住吉部落における差別の空間的表現
 大橋加瑞子 大阪府下観光地・行楽地の誘引圏
 北野好浩 泉北ニュータウンの施設計画とその問題点
 小林弘雄 戦後北海道の農業開発の地域配分
 清水 明 関釜連絡船 —その40年の航跡—
 濱田洋子 白馬村五竜とおみ地区における観光化についての一考察
 藤井奈緒子 認知距離に影響を与える要因の考察
 —大阪市立大学生の認知距離を例として—
 松田至功 天理市二階堂地区における農業構造の変容

1991年3月卒業

- 川崎秀二 原子力発電所立地に伴う地域変化について —福井県美浜町を事例に—
 黒松俊基 コープ住宅を通して考えられるアメニティについて

- 高野美和子 明治中期大阪における綿作衰退の地域差と農業構造の変化
 出口 愛 山村留学制度による地域活性化 — 新城地区を事例として —
 森 賢一 阪神高速道路の一般的考察

1992年3月卒業

- 鬼塚理子 堺・山之口商店街の変遷 — 伝統的商業地のむかしといま —
 小林ゆりの 「我孫子」の変遷について
 柴田道子 定められる景観
 天正恭司 住宅から見た大阪市南東部の旧農村集落における変化
 馬場一枝 琵琶湖の淡水真珠養殖について
 福岡奈津美 ファーストフード店における多店舗展開の構造分析
 藤枝由基子 シンガポールの観光業
 藤澤直樹 日本の都道府県の樹林地構成とその分布
 森脇久美 泉北ニュータウンにおける主婦の時間利用と外出行動

1993年3月卒業

- 石原早咲子 高槻市の公園・緑地の変遷
 勝浦千恵 堺市畑山・東山地区の野菜生産農業
 島本由香 香川県立丸亀高等学校卒業生の移動歴研究 — 同窓会名簿を使って —
 濱名 研 中国都市交通の都市間格差 — 浙江省杭州市と河南省鄭州を例に —
 廣江美紀 吹田の地下水利用
 松村嘉久 中国における少数民族政策の展開 — 雲南省を事例として —
 水田 祥 ヨード欠乏症に関する地理学的考察
 宮口朋子 阿倍野再開発地区内高層住宅居住者に関する考察
 安業香奈映 大阪市におけるオフィスの立地パターンと空間特性
 吉川和代 余暇活動の空間的展開 — 3地域を事例として —

1994年3月卒業

- 阿蘇品治夫 投票率の社会経済的規定性：小地区統計を用いた一試論
 — 熊本市を事例として —
 伊元俊幸 尼崎市の変容と人口
 駒井陽子 ラグビーのまち東大阪
 — まちづくりにおける花園ラグビー場の存在意義に関する一考察 —
 坂井紀公子 アフリカの中小都市 — ケニア・マチャコスタウンを通して —
 酒井由子 千里ニュータウンの生活機能 — 高齢化の状況をふまえて —
 菅田和伸 近年における大阪市公設市場の変化
 関森詩帆 不調和な景観
 細川秀美 英国リヴァプールの観光産業について — ビートルズ効果を中心に —
 松田知香子 地域社会と交通 — 野上電鉄廃止にあたって —
 松田理恵 大学進学行動に関する地域格差と地域関係
 山村 剛 関西大手私鉄の住宅開発

1995年3月卒業

- 青島洋光 諫早湾とエコツアー
赤井晋也 高速バス路線網の展開と都府県間の結び付き
今井元子 都市住民の近隣社会への帰属意識の研究
金丸英俊 宝塚歌劇と共に歩むまち＝宝塚市
一宝塚市のまちづくりと宝塚歌劇の関係の検証一
花野孝史 近代大阪における工業化とスプロール市街化 ～西野田地区周辺を中心に～
飯口しのぶ 大阪府八尾市の都市化と、郊外都市としての位置づけ
一今後の開発のあり方一
柴野治彦 草津市南部地域におけるJR新駅設置のインパクトとその将来性
～交通体系及び住民の動態～
田淵友子 都市における人口高齢化の進展とその実態 一大阪市を事例として一
床次弘幸 奈良県のスポーツ用品工業 一グローブ・ミット工業を中心として一
中村真樹 学校の小規模化に関する一提案 一京都府公立小学校を事例として一
野村 真 区画整理地区における市街化と農地について 一長吉瓜破地区を例に
藤本公雄 宇治川の流路変遷と伏見・宇治
山口 哲 新宮の「路地」と中上健次のインタラクティブな関係

1996年3月卒業

- 市岡秀記 バス交通ネットワークによる都市の結節構造
一奈良県生駒市を事例として一
小川つき子 須磨の地理的イメージについて
柏木由紀 マラソンの地理学
工藤一将 関西国際空港の開港による国内航空貨物流動と航空貨物分布の変化
森あい子 アーケードからみた大阪市内の商店街
山田智子 旧堺市街地北部の住宅地
好木星樹 堺市における小売商業集積の構造と変容

1997年3月卒業

- 井上威一郎 放送局の研究 一局の社長・会長に関する一考察
大原晶子 東大阪市 中小企業密集地・高井田地区
貝澤武史 昭和初期における大都市圏郊外電気鉄道の遊覧地開発
～阪和電気鉄道を事例として
神谷拓信 銭湯業の衰退とその跡地利用 一東大阪市を例として一
北浦かおり 台風接近時における降雨分布 ～近畿地方を事例として～
穂谷浩司 大阪外縁地区における都市形成 ～大東市を事例として～
渡藤 博 土地区画整理事業と見方
一大阪市茨田北部地区土地区画整理事業を中心として一
阪田有理 Influence of tourism in guidebooks: in the case of Antalya, Turkey
笹山めぐみ つくられた花見名所 一電鉄会社との関わりからの考察
月原綾子 産業廃棄物最終処分場の立地特性 ～近畿6県を事例として～
中尾明弘 時代の変化に伴う商店街の変容 一大阪・日本橋電気街を例として一

長野 忍

日本におけるフリーマーケットの現状とその特徴

—近畿地方を事例として—

真中哲朗

紀ノ川流域の淡水漁業 ～その伝統と現代の紀ノ川～

1998年3月卒業

青木千枝

多民族国家マレーシアにおける言語と国民統合 ～ベナン島を事例に～

岡野裕美

大阪市における情報サービス業の立地特性

梶 芳美

居住地移動からみた大都市圏外農村地域における新興住宅地について

—兵庫県水上郡の事例—

芝尾克巳

泉北高速鉄道光明池駅—和泉中央駅間における景観について

清水達也

過疎山村の地域活性化への取り組み —滋賀県朽木村を事例として—

中谷龍介

大阪府における風俗宿泊施設の立地に関する考察

難波利行

臨海地域における海面部の景観とその存在意義

—大阪市港湾部を例として—

萩中麻理子

兵庫県水上郡山南町の墓制

秦谷耕平

過疎地域内部における地域分化 —岡山県阿哲郡神郷町を事例として—

福田優子

青森市における中心商店街の再活性化とまちづくり

溝川由利子

山岳信仰としての修験道 —石の精神性との関わり—

村岡弘章

地域開発とその影響 —電源開発を中心として—

山本武志

産業構造の変化に伴う人口動向 —北九州市の事例—

1999年3月卒業

板谷陽子

京阪神大都市圏における映画館の立地変遷

柴田理恵

神戸 1,000万ドルの夜景 ～その変遷に関する一考察～

嶋津 良

過疎地域における交通機関と交通需要 ～奈良県吉野地方を事例として～

玉置洋子

上海市の都市開発と交通の相互関係

中田守彦

世界遺産・屋久島 —人と自然の共生を目指して—

西岡美智子

華僑のライフ・ヒストリーから見た神戸南京町

西本拓史

沖縄・平和への取り組み

樋口志都

宮沢賢治の『猫の事務所』における創作地名 —作者の心象風景—

松原淳子

卸から小売への業態変化に伴う問屋街の変容

—大阪・松屋町問屋街を事例として—

山口しのぶ

寺内町における現在の景観とまちづくり

—貝塚、久宝寺、富田林を事例として—

山野冨子

田原本町薬王寺における混住化と自治会